

## 平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月9日

上場会社名 キッセイ薬品工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 4547 URL <http://www.kissei.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 神澤 陸雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務管理部長

(氏名) 佐藤 公衛

TEL 0263-25-9081

四半期報告書提出予定日 平成21年11月12日

配当支払開始予定日

平成21年12月7日

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	31,664	4.5	3,871	43.9	4,125	46.8	2,406	54.5
21年3月期第2四半期	30,295	—	2,690	—	2,811	—	1,557	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	44.33	—
21年3月期第2四半期	28.71	27.09

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	143,972	121,988	84.6	2,244.07
21年3月期	140,181	118,415	84.4	2,177.96

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 121,827百万円 21年3月期 118,249百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
22年3月期	—	16.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	16.00	32.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	63,000	△2.4	6,100	△4.6	6,600	6.9	4,000	94.1	73.68

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第2四半期 56,911,185株 21年3月期 56,911,185株

② 期末自己株式数 22年3月期第2四半期 2,622,541株 21年3月期 2,617,582株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第2四半期 54,290,295株 21年3月期第2四半期 54,256,611株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本年5月12日に「平成21年3月期決算短信」で公表しました平成22年3月期の連結業績予想及び個別業績予想につきまして、本資料において通期業績予想を修正しております。

2. 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

業績予想の前提条件その他に関する事項につきましては、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、諸外国における景気対策効果や在庫調整の進展などに伴う輸出や生産の回復が見られましたものの、企業収益の悪化に伴う設備投資の減少や雇用・所得環境の一層の悪化など引き続き厳しい状況下にあり、依然として先行き不透明感を払拭できない中に推移しました。

医薬品業界におきましては、後発品の使用促進策等の医療費抑制施策が引き続き推進されるなど一層厳しい状況にありました。また、情報サービス業界、物品販売業界、建設業界におきましては、企業収益の悪化に伴うIT投資及び設備投資の大幅な減少や内需の低迷などを背景に依然として厳しい競争環境下にありました。

このような情勢の中で、医薬品事業におきましては、本年2月に新たに錠剤を発売いたしました前立腺肥大症に伴う排尿障害改善薬「ユリーフ<sup>®</sup>」、同じく2月に効能追加（チアゾリジン系薬剤との併用療法）の承認を取得いたしました糖尿病治療薬「グルファスト<sup>®</sup>」及び口腔乾燥症状改善薬「サラジェン<sup>®</sup>」の育成を図るとともに、既存の製商品につきましても積極的な医薬情報活動を推進いたしました。また、当社が創製し海外に技術導出した前立腺肥大症に伴う排尿障害改善薬シロドシン（一般名、日本製品名ユリーフ）につきまして、ワトソン社（アメリカ）では製品名「RAPAFLO<sup>™</sup>」として本年4月に、またチョンウエ製薬（韓国）では製品名「THRUPAS<sup>®</sup>」として本年9月に新発売しております。

研究開発面では、平成20年11月に共同開発先である日本ケミカルリサーチ株式会社より承認申請されました腎性貧血治療薬（遺伝子組換えヒトエリスロポエチン、開発番号JR-013）の承認取得に向けたフォローを行いましたほか、悪性中皮腫治療薬（抗CD26ヒト化抗体、開発番号YS110）の臨床試験を開始するなど、各テーマの研究開発を推進いたしました。なお、当社が創製しグラクソ・スミスクライン社（イギリス）に技術導出した新規糖尿病治療薬レモグリフロジン（一般名）につきまして、同社ではSGLT2阻害剤の競合他社による開発状況等を勘案した結果、本剤の開発を中止することを決定しております。

このほか、本年10月にユーシービーージャパン株式会社が製造し当社が販売いたしております血圧降下薬「シナロング<sup>®</sup>錠10」の一部にプラセボ錠（有効成分を含まない試作品）が混入していたことが判明いたしましたことから、市場からの全品回収を進めております。

その他の事業におきましては、グループ各社の事業構造改革とシナジー効果の創出によるグループ経営基盤の強化に積極的に取り組んでおります。

この結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高316億6千4百万円（前年同期比4.5%増）、営業利益38億7千1百万円（前年同期比43.9%増）、経常利益41億2千5百万円（前年同期比46.8%増）、四半期純利益24億6百万円（前年同期比54.5%増）となりました。

事業の種類別セグメントの業績は、医薬品事業におきましてはライセンスアウトなどに伴う技術料売上が減少いたしましたほか、既存製品が後発品・競合品による影響などにより減少いたしました。新製品のユリーフ、グルファスト、サラジェンなどが増加いたしましたことから、売上高は275億9千万円（前年同期比2.8%増）となりました。その他の事業におきましては、情報サービス業において減収となりましたが、建設請負業及び物品販売業において増収となり、売上高は40億7千4百万円（前年同期比18.0%増）となりました。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

#### (1) 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は1,439億7千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ37億9千1百万円（2.7%）増加しました。流動資産は845億5千8百万円となり、25億3千万円増加しております。主な要因は売掛金が減少しました一方で、現金及び預金が増加したことによりです。固定資産は594億1千3百万円となり、12億6千万円増加しております。主な要因は減価償却による減少の一方、保有株式の株価上昇により投資有価証券が増加したことによりです。

当第2四半期連結会計期間末の負債は219億8千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億1千7百万円（1.0%）増加しました。流動負債は160億7千5百万円、固定負債は59億8百万円で、前連結会計年度末と比べ大きな増減はありません。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は1,219億8千8百万円となり、前連結会計年度末に比べ35億7千3百万円（3.0%）増加しました。主な要因は利益剰余金、株価上昇によるその他有価証券評価差額金の増加であります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の84.4%から84.6%となりました。

## (2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末より43億7千2百万円増加し、当第2四半期連結累計期間末では469億8千6百万円（前連結会計年度末比10.3%増）となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、前年同四半期比2億5千1百万円増の63億3千1百万円となりました。主な要因は仕入債務の減少による支出の増加はありましたが、税金等調整前四半期純利益の増加、及びたな卸資産の減少による支出の減少、法人税等の支払額が減少したことなどによります。

### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、前年同四半期比4億8千1百万円支出増の10億4千万円の支出となりました。主な要因は有価証券の売却・償還による収入及び投資有価証券の売却による収入は増加しましたが、投資有価証券の取得による支出が増加したことなどによります。

### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、前年同四半期比117億9千2百万円支出減の9億1千4百万円の支出となりました。主な要因は前年同四半期に第2回無担保転換社債の償還による支出があったことなどによります。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

医薬品事業におきましては、後発品使用促進策等の医療費抑制施策の影響を引き続き受け、厳しい競争環境下にあります。また、その他の事業におきましても、価格競争など依然として厳しい業界環境が継続するものと予想されます。このような情勢の中で当グループは、グループとしての相乗効果が発揮できる経営体質の確立を目指し、また、これまでの研究開発などへの投資の成果を結実させ、収益性の改善に取り組んでまいります。現時点での平成22年3月期の連結業績見通しにつきましては、以下のとおりです。

連結業績見通し

	22年3月期見通し	21年3月期実績	対前期増減額	増減率（%）
売上高（百万円）	63,000	64,535	△1,535	△2.4
営業利益（百万円）	6,100	6,393	△293	△4.6
経常利益（百万円）	6,600	6,174	426	6.9
当期純利益（百万円）	4,000	2,061	1,939	94.1

### ・売上高

当初見通しより25億円減額の630億円（前年度比2.4%減収）に修正いたします。

医薬品事業におきまして、第2四半期連結累計期間の結果ならびに現況を加味した見直しなどを行いました結果、25億円減額の計画といたしました。この度のシナロングの回収による影響などを含めました医薬品売上の見直しのほか、年度後半（平成21年10月1日～平成22年3月31日）に見込んでおりました導出済みテーマのマイルストーン到来に伴う技術料の売上が来年度にずれ込むものとして見直したことによります。

### ・利益

第2四半期連結累計期間におきましては、主に販売費及び一般管理費が当初計画を下回りましたことなどにより、営業利益、経常利益、四半期純利益が当初見通しを上回りましたが、年度後半の販売費及び一般管理費につきましてはほぼ当初計画通りです。

年度の売上高を減額修正いたします一方で、販売費及び一般管理費も減額修正いたしますことなどから、通期の利益見通しにつきましては、営業利益は当初見通しより4億円減額の61億円（前年度比4.6%減益）、経常利益は当初見通しより5億円減額の66億円（前年度比6.9%増益）、当期純利益は当初見通しより3億円減額の40億円（前年度比94.1%増益）の見通しであります。なお、年度後半の営業外損益ならびに特別損益におきましては特別なものは見込んでおりません。

(参考) 個別業績見直し

	22年3月期見直し	21年3月期実績	対前期増減額	増減率(%)
売上高(百万円)	55,000	55,295	△295	△0.5
営業利益(百万円)	5,900	5,965	△65	△1.1
経常利益(百万円)	6,400	5,777	623	10.8
当期純利益(百万円)	3,900	1,829	2,071	113.2

・1株当たり当期純利益予想は、71円84銭であります。

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

(完成工事高及び完成工事原価の計上基準の変更)

受注制作のソフトウェア(ソフトウェアの開発契約)及び工事契約に係る収益の計上基準については、従来、工事完成基準を適用しておりましたが、第1四半期連結会計期間より「工事契約に関する会計基準」(企業会計基準第15号 平成19年12月27日)及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第18号 平成19年12月27日)が適用されたことに伴い、第1四半期連結会計期間に着手した契約から、当第2四半期連結会計期間末までの進捗部分について、成果の確実性が認められる場合については工事進行基準(進捗度の見積りは原価比例法)を、その他の場合については工事完成基準を適用しております。

なお、これによる売上高、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響はありません。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	21,164	16,801
受取手形及び売掛金	22,062	23,085
有価証券	25,891	26,362
商品及び製品	4,800	5,032
仕掛品	847	1,202
原材料及び貯蔵品	3,893	4,089
繰延税金資産	2,131	1,952
その他	3,841	3,577
貸倒引当金	△74	△74
流動資産合計	84,558	82,028
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	34,577	35,382
減価償却累計額	△23,191	△23,459
建物及び構築物(純額)	11,385	11,922
土地	13,368	13,415
建設仮勘定	33	16
その他	13,694	14,148
減価償却累計額	△11,018	△11,134
その他(純額)	2,676	3,014
有形固定資産合計	27,463	28,368
無形固定資産	1,914	2,251
投資その他の資産		
投資有価証券	27,033	23,128
繰延税金資産	1,034	2,267
その他	2,017	2,185
貸倒引当金	△50	△49
投資その他の資産合計	30,035	27,532
固定資産合計	59,413	58,152
資産合計	143,972	140,181

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,974	5,698
短期借入金	2,402	2,402
未払法人税等	1,687	521
賞与引当金	1,991	1,937
その他の引当金	645	730
その他	4,372	4,646
流動負債合計	16,075	15,938
固定負債		
長期借入金	799	841
退職給付引当金	3,579	3,434
役員退職慰労引当金	109	103
その他	1,418	1,448
固定負債合計	5,908	5,827
負債合計	21,983	21,765
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	24,356	24,356
資本剰余金	24,254	24,253
利益剰余金	74,486	72,894
自己株式	△4,311	△4,300
株主資本合計	118,786	117,204
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	3,041	1,044
評価・換算差額等合計	3,041	1,044
少数株主持分	161	165
純資産合計	121,988	118,415
負債純資産合計	143,972	140,181

(2) 四半期連結損益計算書  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	30,295	31,664
売上原価	10,683	11,111
売上総利益	19,611	20,553
返品調整引当金戻入額	24	21
返品調整引当金繰入額	23	16
差引売上総利益	19,611	20,558
販売費及び一般管理費	16,921	16,687
営業利益	2,690	3,871
営業外収益		
受取利息	128	67
受取配当金	318	292
その他	80	137
営業外収益合計	526	497
営業外費用		
支払利息	77	24
有価証券評価損	77	—
有価証券売却損	—	14
投資事業組合運用損	138	142
為替差損	—	50
その他	112	11
営業外費用合計	406	243
経常利益	2,811	4,125
特別利益		
固定資産売却益	80	—
投資有価証券売却益	—	8
特別利益合計	80	8
特別損失		
投資有価証券評価損	244	45
減損損失	—	328
その他	18	152
特別損失合計	262	526
税金等調整前四半期純利益	2,628	3,607
法人税、住民税及び事業税	1,214	1,501
法人税等調整額	△147	△295
法人税等合計	1,066	1,205
少数株主利益又は少数株主損失(△)	4	△4
四半期純利益	1,557	2,406



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,628	3,607
減価償却費	1,783	1,596
引当金の増減額(△は減少)	△1,510	120
減損損失	—	328
受取利息及び受取配当金	△446	△359
支払利息	77	24
為替差損益(△は益)	△1	2
有価証券売却損益(△は益)	—	14
有価証券評価損益(△は益)	77	△94
有形固定資産売却損益(△は益)	△80	—
固定資産処分損益(△は益)	5	57
投資有価証券売却損益(△は益)	—	85
投資有価証券評価損益(△は益)	244	45
売上債権の増減額(△は増加)	1,115	1,022
たな卸資産の増減額(△は増加)	△866	782
その他の流動資産の増減額(△は増加)	266	△132
仕入債務の増減額(△は減少)	1,390	△723
その他の流動負債の増減額(△は減少)	505	△196
その他の固定負債の増減額(△は減少)	1,379	△0
その他	158	165
小計	6,729	6,347
利息及び配当金の受取額	413	342
利息の支払額	△76	△24
法人税等の支払額	△987	△333
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,079	6,331
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△40	△42
定期預金の払戻による収入	50	50
特定金銭信託の払戻による収入	30	—
有価証券の売却及び償還による収入	—	476
有形固定資産の取得による支出	△468	△629
有形固定資産の売却による収入	115	18
国庫補助金等受入による収入	159	159
無形固定資産の取得による支出	△61	△148
投資有価証券の取得による支出	△400	△1,158
投資有価証券の売却及び償還による収入	1	302
貸付けによる支出	△99	△186
貸付金の回収による収入	119	192
長期前払費用の取得による支出	△8	△4
その他	42	△71
投資活動によるキャッシュ・フロー	△559	△1,040

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	470	210
短期借入金の返済による支出	△380	△210
長期借入金の返済による支出	△41	△41
リース債務の返済による支出	△40	△48
社債の償還による支出	△11,920	—
自己株式の取得による支出	△42	△12
自己株式の売却による収入	6	1
配当金の支払額	△759	△814
財務活動によるキャッシュ・フロー	△12,707	△914
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	△2
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△7,186	4,372
現金及び現金同等物の期首残高	45,874	42,613
現金及び現金同等物の四半期末残高	38,688	46,986

- (4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

- (5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

	医薬品 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	26,842	3,452	30,295	—	30,295
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	1,874	1,874	(1,874)	—
計	26,842	5,326	32,169	(1,874)	30,295
営業利益	2,529	37	2,567	123	2,690

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

	医薬品 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	27,590	4,074	31,664	—	31,664
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	1,929	1,929	(1,929)	—
計	27,590	6,004	33,594	(1,929)	31,664
営業利益	3,703	88	3,791	79	3,871

[所在地別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）及び当第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

[海外売上高]

前第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）及び当第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。

6. その他の情報

販売実績

区分	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)		増減	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	増減率 (%)
医薬品事業						
その他代謝用薬	1,972	6.5	2,409	7.6	437	22.2
神経系用薬	2,252	7.4	1,858	5.9	△394	△17.5
感覚器官用薬	1,557	5.2	1,457	4.6	△100	△6.4
循環器官用薬	6,603	21.8	6,098	19.3	△504	△7.6
消化器官用薬	1,304	4.3	1,410	4.4	106	8.2
ホルモン・泌尿生殖・血液体 液用薬	7,292	24.1	8,215	25.9	922	12.7
アレルギー用薬	1,252	4.1	1,132	3.6	△120	△9.6
その他	4,606	15.2	5,007	15.8	400	8.7
計	26,842	88.6	27,590	87.1	747	2.8
その他の事業	3,452	11.4	4,074	12.9	622	18.0
合計	30,295	100.0	31,664	100.0	1,369	4.5
(うち輸出高)	(1,321)	(4.4)	(1,307)	(4.1)	(△13)	(△1.0)

(注) セグメント間取引については、相殺消去しております。